



# IBJ防除情報

(\*は、Ishihara Bioscience Japan=石原バイオサイエンスの略)

第5号



困っているんだ～

## いまどきの防除

(病害虫の発生予察と薬剤による防除対策)

●農水省は7月7日、向こう1か月の主要病害虫発生予報を発表しました。その中から主な作物を対象に、発生が「多い」と発表された病害虫とその地域及び防除農薬(当社の推奨農薬)を一表に纏めましたので推進のご参考にして下さい。 注) FL:フロアブル 水:水和剤 乳:乳剤 DF:ドライフロアブル 粒:粒剤

作物別	病害虫名	発生が「多い」地域	防除農薬(当社推奨農薬)	
野菜	ネギ	近畿	ウララDF、アタブロン乳、ガゼット粒、アドバンテージS粒	
	イチゴ	北関東	ウララDF、ガゼット粒	
	きゅうり	北関東	ウララDF、テルスター水・FL、ガゼット粒	
	なす	アザミウマ類	関東	ウララDF、アタブロン乳、ガゼット粒
		アブラムシ類	北関東	ウララDF、テルスター水・FL、ガゼット粒
		コナジラミ類	四国	ウララDF、テルスター水
	ピーマン	ハダニ類	北関東	テルスター水・FL、アカリタッチ乳
果樹	かんきつ	アブラムシ類	四国	ガゼット粒
	なし	そうか病	四国	フロンサイドSC
	ぶどう	ナシヒメシクイ	関東	テルスター水・FL
べと病		中国、北九州	ランマンFL、ドーシャスFL	
茶	炭そ病	九州	フロンサイドSC	
	チャノココクモンハマキ	近畿	テルスター水・FL、アタブロン乳、トアロー水CT	

\*使用に当たっては、製品ラベルをよく読み、登録内容の確認を充分に行ってください。

\*展着剤を使用する場合は「まくびか」をお奨めします。



新しい農薬です

## IBJの新農薬

(適用拡大を含む)

● 本年6月1日以降6月末までの間に、登録された新農薬(適用拡大を含む)は、次の通りです。

登録日	薬剤名	登録内容(適用拡大を含む)のあらまし	
		対象作物	内容
23.6.8	アクセルフロアブル(殺虫剤)	はくさい	適用害虫に「アオムシ」「ハイマダラノメイガ」「ハスモンヨトウ」を追加
		キャベツ	適用害虫の「タマナギンウワバ」を「ウワバ類」に変更し、希釈倍数を「1,000倍」から「1,000～2,000倍」に変更。 作物名「ばら」及び「カーネーション」を、「花き類・観葉植物(きくを除く)」に変更。
23.6.22	エスレル10(植調剤)	小麦(春播小麦)	・使用時期の追加(次の2時期が追加された) 1 止葉期: 希釈倍数 75～125倍 (使用液量10アール当り25L) 2 止葉期～出穂始期: ①希釈倍数125倍 (使用液量10アール当り25L) ②希釈倍数300～500倍 (使用液量10アール当り100L) (注)・約30%以上の出穂を見てからでは、倒伏軽減効果が劣ったりするので適期に散布する。また、少量散布(10アール当り25Lの場合)は、専用ノズルを使用すること。
	トアロー水和剤CT(殺虫剤)	ひえ	・対象害虫の追加 イネヨトウ: 希釈倍数 1,000倍

# 防除に関するQ & A

なんで??

どうして??



**Q. 作物に萎れが見られる為、株元を掘った所、根にこぶができていました。ネコブセンチュウ害か根こぶ病かの見分け方について教えてください。**

**A. 作物の根にこぶができ、主に水分の吸い上げが阻害されるため、地上部が萎れる症状には、ネコブセンチュウ害と根こぶ病が考えられます。ネコブセンチュウ害が線虫という微細な動物による虫害であるのに対し、根こぶ病は糸状菌の一種、根こぶ病菌による病害です。**

この両者は、次の様に①こぶの着き方・形、②こぶの着く作物種が異なり、又、③作型によって発生状況が異なる事から、見分けが可能です。

## 相違点による見分け方

◇ 写真はともにハクサイの被害

相違点	ネコブセンチュウ	根こぶ病
① こぶの着き方・形	主に細根に、ほぼ均等な大きさのやや小さな(直径5mm程度迄の)こぶが数珠玉状に連なります。	主根の基部から細根の先迄、部分的に固まって、不定形な比較的大きなこぶが着きます。
② こぶの着く作物	イネ科を除く、殆どの作物に発生します。	アブラナ科野菜にのみ発生します。但し、大根は、発生するものの被害は軽度です。
③ 作型による発生の仕方	畑作物の連作では発生が激化するが、水田裏作では、水封により発生が抑制されます。	水田裏作では、田水や代掻き等の土壌の攪拌によって菌の胞子が拡散する為、次作では発生面積が拡大する場合があります。



## 主要野菜での両者の発生の比較

科	作物名	着生度	
		ネコブセンチュウ	根こぶ病
ア	はくさい	△	●
ブ	キャベツ	△	●
ラ	ブロッコリー	△	●
ナ	だいこん	●	△
科	かぶ	△	●

科	作物名	着生度	
		ネコブセンチュウ	
ウリ科	きゅうり	●	
	すいか	●	
	メロン	●	
	かぼちゃ	●	
ナス科	トマト	●	
	なす	●	
	ピーマン	●	
	ばれいしょ	●	
キク科	レタス	△	
	ごぼう	●	
ヒルガオ科	かんしょ	●	
サトイモ科	さといも	△	
ヤマノイモ科	やまのいも	●	
セリ科	にんじん	●	

科	作物名	着生度	
		ネコブセンチュウ	
シソ科	しそ	●	
バラ科	いちご	△	
マメ科	えだまめ	△	
	そらまめ	△	
	えんどう・さやえんどう	●	
	いんげんまめ・さやいんげん	●	
アカザ科	ほうれんそう	●	
ユリ科	たまねぎ	△	
	ねぎ	△	
	にんにく	×	
	らっきょう	●	
ショウガ科	しょうが	△	
	みょうが	△	

(凡例)

- …被害が大きく、要防除
- △ …発生するが、通常、被害は軽い
- × …発生しない

弊社製品では、**根こぶ病**には**フロンサイド粉剤・SC**(本圃土壌への混和)と**ランマンフロアブル**(育苗セル・ポットの培土への希釈液灌注)が、**ネコブセンチュウ**には**ネマトリンエース粒剤・ラグビーMC粒剤**(本圃土壌への混和)と**ガードホープ液剤**(本圃への希釈液灌注他)が、それぞれ登録を取得しております。

作物別に農業登録上の施用量・希釈倍率・使用時期等を御確認の上、御使用下さい。



**ISK 石原バイオサイエンス株式会社** 本社 普及部  
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号  
TEL 03-5844-6320 FAX03-3812-6548

ホームページ アドレス <http://www.iskweb.co.jp/ibj/>